

平成25年度第8回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

(1) 開催日時 平成26年（2014年）3月19日（水） 午前11時30分～同12時10分

(2) 開催場所 宝塚市立男女共同参画センター 学習交流室1A

(3) 出席者

・景観審議会デザイン協議部会委員

徳尾野部会長、岩井委員、中嶋委員、赤澤委員、三谷委員、柏樹委員、
波田委員

・事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）

大西部長、山下室長、西本課長、君田係長、谷口係長

・事業者

議事① 設計者 阪急設計コンサルタント株式会社

(4) 議 事

議事① 宝塚市武庫川町寮新築工事（2回目）

(5) 傍聴者

なし

2. 会議の要旨

事務局：本日の審議会（部会）は、委員7名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

会 長：了解しました。審議を開始します。本日の署名委員は順番により、柏樹委員と波田委員です。

☆☆☆★ 宝塚市武庫川町寮新築工事（2回目） ★☆☆☆☆

会 長：前回のデザイン協議を踏まえ変更した所、変更できなかった所を中心に説明して下さい。

設計者：前回のアドバイスいただいたことによって変更した内容をまとめました。

- ・道路からの見えがかりを配慮して、南側に樹木に3本追加しました。
- ・屋根の色の彩度を下げました。
- ・基壇部と上段部を明確に分けるため、柱型には装飾を設け、壁には2階バルコニー壁を1階外壁より少し前に出す事で段差を設けました。

- ・ ベランダ壁中央のタイル伸縮目地とアルミ手すり縦枠と各住戸の隔て壁を揃える事で、縦のリズムを付加しました。
- ・ 両側にある階段室に縦長窓に代わる縦ラインを強調した凹みを設けました。
- ・ 1階の柱型も外壁に合わせ石目調の吹付タイルとしました。
- ・ コンクリート塀の圧迫感や閉塞感を少しでも軽減するため、スポット緑化を追加しました。
- ・ 道路際の塀については、中を窺えないよう、フェンスではなく塀にしました。
- ・ 階段室の縦ラインを3面に設けました。
- ・ 南立面については、バルコニー壁のタイル貼り範囲を階段室まで伸ばしました。

委員：立面図を見ると柱型と壁面の色が違う様に見えます。表記されているマンセル値は同じ値ですので、仕上げが違うのでしょうか。

設計者：仕上げも、色目も同じです。ただ、立面図を表現するときに同じ色を着色すると、建物の凹凸感がでないので、奥まっている壁については影を考慮した色を立面図に着色しています。

委員：南側の歩道整備については、どの様になりましたか。

設計者：道路部局からの明確な回答は、まだありません。ですので、当該計画についても歩道との取り合い部分は継続審議と考えております。道路計画が決まり次第、デザイン協議が必要であると認識しています。

会長：歩道が現在の高さで再整備されてしまうと、敷地内を覗かれると思いますが、それについては、どのように考えられていますか。

設計者：歩道が現在の高さで整備されることになると、目隠しが必要になると思っております。ですが、取り合いも含め今後の協議によると思っております。

委員：細かいディテールはこれからと思いますが、同面で仕上げると汚れが付きますので、特に基壇部や屋根には見切りを設けられると良いと思います。また、塀も同様ですので、既存の塀の様に上部にスパニッシュ瓦を施していただけると、汚れが付きにくく周囲にも調和したものとなり、とても良くなると思います。

委員：建築物のデザインについては、ベタッと感をなくすことがポイントだと思います。既存の建築物を見ると一見ベタッと見えますが、ブレイクダウンしています。この様に今回の計画についても、柱型の間にせつかくパーティションが入っていますので、腰壁に設けるガラス手すりにエッジを入れるなどしてはどうでしょうか。小さなエレメントを入れると印象が変わると思います。大きなフレームにマイナーなものを入れると良いと思います。ガラス手すりのフレーム

にパーティションを当てると良いと思います。

設計者：設計としては、隔て板を入れたくなかったが、事業者の要望によりやむを得ず導入しましたので、隔て板をこれ以上、前に出したくありません。

委員：建物の両側面にも隔て板があり、建物の妻側は居室から出入りできませんが、メンテナンスは大丈夫でしょうか。

設計者：その部分は階段室から出入りできますので、管理上の問題はありません。消防の避難計画により、最近では全周バルコニーを回すよう計画しています。

委員：植栽計画についてですが、南側に目隠し用と思われる常緑樹を3本計画されていますが、カシノキは葉張りが7から8mと非常に大きくなりますので、建物が真っ暗になると思います。ですので、常緑ではなく落葉のヨウカエデの方が建物にも良いと思います。また、この位置に常緑樹を植えますと、せっかく残していただいたイチョウが駄目になります。樹種を再検討いただければと思います。

委員：次に東側の壁面緑化についてですが、建築物本体は管理上の問題もあり難しいことはわかりますが、既存の景観との調整も考えて、塀への壁面緑化は再度考えていただきたいです。東側にはイチョウとクスノキがありますので、足元は花が良いと思います。洋風のコニファーが入るとバランスが良くないと思いますが中木を植えるのも良くないと思います。ナツツタを入れると調和できると思います。塀ですと管理上もあまり気を遣わなくて良いと思いますし、足元に土があるとツタをはわすことができますので、再検討してください。三つ目は、サツキツツジ、ヒラドツツジを塀の足元に植えると簡素になると思います。

設計者：外はノーメンテナンスとしたいので、中だけご意見をいただいた様な低木植栽にしました。

会長：2mの塀に対する壁面緑化を推奨されていますが、却下された場合このコニファーは残しておいたほうがよいのでしょうか。

委員：塀の足元がサツキツツジ、ヒラドツツジだけになると街路樹の様に見えてしまいます。コニファーや中木よりは、下は綺麗な花類を植えることを推奨します。ただ今のように塀に塗装して、足元に花を植えることも良いと思いますが、そうすると新しいものになってしまいます。これまでの景観を継承し、調和するというので、塀などにツタ類を勧めています。

委員：柱型や階段室に入っている横の線は、実際に入るのでしょうか。

設計者：打継目地になりますので、入ります。

委員：1階柱型（基壇部）の装飾ですが、凹凸があるのでしょうか。

設計者：凹凸はあります。

委員：南側の立面、特に1階の壁は分節化や凹凸が必要ではないでしょうか。南から歩いてくると単調で暗い印象を与えると思いますので、南側の壁面について、

工夫していただけないでしょうか。植栽で建物を隠すということも策の一つで、今の計画にはカシノキを入れていただいています、もう少し雰囲気のある立面にいただけないでしょうか。

設計者：南立面を隠すという意味もあって、カシノキを植える計画をしています。

委員：南側には階段室程度の機能しかないことは解りますが、もう少し陰影がある立面にいただきたい。

委員：周りとの調和という意味でスパニッシュ瓦を検討していただきたいです。塀のタイルをスパニッシュの赤からオレンジの色に変えていただくと優しくなると思います。

設計者：カラーリングは大劇場に合わせています。

委員：一番制約がなく効果的だと思いますので、塀のスパニッシュ瓦は是非検討してください。

会長：ディテールが変わることなので、植栽も含めて検討してください。

会長：以上で本日の協議会は終了します。